

第1710回 2020年12月3日(木)

《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘

2. 合 唱 国歌「君が代」,「奉仕の理想」,ロータリーの目的

3. お客様の紹介

- ・第7Gガバナー補佐 コヤマテルヒコ 小山輝彦様
- ・第7GIM実行委員会副委員長 クモデタクミ 蜘蛛手匠様

4. 会長の時間

- 本日はIMのリモート会議のリハーサルということで、かなり時間を取られるのではないかと考えていたので、特に会長の時間の話しは用意して来ませんでした。
- 先日、親子川柳大会がありまして、我々秦野名水RCのクラブ賞というのがあり授与してきました。
- もう一つは先週もお話ししましたが、ポケットークの贈呈式にも行って参りました。



本町中学校で行ってきたのですが、この中学校では外国人専門のクラスがありそのクラスの先生が言われるには、ポケットークの台数が少ないので一般的な会話には使わず特に新しく入学してきた生徒や親子に校則や決まり事をいろいろ説明する際にポケットークが非常に役に立つとおっしゃっていました。

というのは、生徒は同じ生徒の中に入ればそれなりに会話したり遊んだり子供同士はできるのですが、親に細かいことも含めて説明するときにはとても助かるということでした。特に英語圏はまだよいのですが、ポルトガル語・スペイン語等南米から来られる方たちには特に役に立つそうです。

来年も是非にというお話しでしたので、鈴木エレクトも同席されていたので記憶に残っていると思いますので、次年度のご検討をお願い致します。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

今月のロータリーレート: 1\$ = 105円

①疾病予防と治療月間リソースのご案内

②新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた

「日本事務局在宅勤務」のお知らせ(2020年11月30日)

③地区立法案検討委員会からのお知らせ

(①反対表明について ②決議案提出について)

④2021年台北国際大会 参加ツアーのご案内

【受付文書】

①秦野3クラブ合同新年会について(中止のご案内)

【例会変更】

《秦野》

・12月8日(火)臨時休会

・12月15日(火)通常例会

【本日の配布物】

・1710回例会次第

・1709回例会週報

・フィリピンアフリカを助ける会日より

6. 奨学金授与及びスピーチ ⇒ 次週に持ち越し

7. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日 古谷さん (12/5)
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日 (会 員)
(配偶者)

8. スマイル報告

- 第7Gガバナー補佐 小山輝彦様(伊勢原平成 RC)「本日はIMの案内で参りました。ご協力よろしくお願い致します。」
- 第7G IM実行委員会副委員長 蜘蛛手様(伊勢原平成 RC)「本日はIMのご案内に伺いました。よろしくお願い致します。」
- 神崎達朗さん「本日はIMのリモート会議のリハーサル例会です。ご協力よろしく。」
- 大屋富茂さん「本日の例会は、小山ガバナー補佐・蜘蛛手副実行委員長にお越し頂き、1/23に実施されるIMのリハーサルを行います。よろしくお願い致します。」
- 鈴木和夫さん「AG 小山様、蜘蛛様ご苦勞様です。宜しくお願い致します。」
- 山谷洋子さん「第7G ガバナー補佐小山輝彦様、第7IM 実行委員会副委員長蜘蛛手匠様、ようこそお出で下さいました。本日はどうぞ宜しくお願い致します。」
- 桐山晃忠さん「伊勢原平成 RC の IM活動を成功の中で納めて下さい。ご苦勞様です。」
- 北村まり子さん「中栄スタジアムでの少年野球卒業大会準優勝でグリンスタースの決勝進出です。孫がショート1番で出場します。6日の日曜日には応援に行きます。」
- 原郁夫さん「IMキャラバン、ご苦勞様です。」
- 原恵美子さん「本日名水の皆様に“令和二年度新嘗祭皇室献上米”を持参致しました。県の代表として選ばれたお米です。多くの友人・知人にお分けしておりますので少しずつですが両陛下がお召し上がりになられる献納したお米と同じ場所のものです。」
- 淵脇美代子さん「もう師走、朝夕冷え込んできました。先週はロータリー財団への寄付金ありがとうございました。年末に向かいますますお忙しい事と思いますがどうぞご自愛下さい。」
- 東島礼美さん「寒い日が続きます。献上米を頂いて元気に過ごせそうです。ありがとうございました。」
- 諸星道治さん「第7グループガバナー補佐小山様、IM実行副委員長蜘蛛手様、今日は宜しくお願い致します。」
- 矢端雅子さん「11/22・23 JCOM CUP少年野球大会、好天に恵まれ秦野チーム準優勝にて終わることが出来ました。協賛ありがとうございました。」
- 酒井健一さん「小山ガバナー補佐、蜘蛛手実行副委員長、頑張ってください。」

合計 70,000 円

9. 出席報告

○会員数 16名、○出席義務 16名、○出席数 14名、出席率 87.5%

10. 地区委員会報告 ⇒ 無し

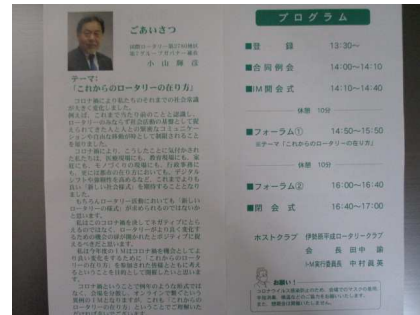
11. 委員会及びその他の報告 ⇒ 無し

12. IMについて

<神崎会長より>

○今日はIM実行副委員長の蜘蛛手様がお見えになっております。皆様にはIMの

プログラムが配布されており、それでは蜘蛛様から一言お願い致します。



○皆様こんにちは！伊勢原平成 RC の I M 実行副委員長を務めさせていただきます蜘蛛様でございます。どうぞよろしくお願い致します。

○画面の方には小山ガバナー補佐が写っていると思います。
まずは小山ガバナー補佐からご挨拶をさせていただきます。小山ガバナー補佐よろしくお願い致します。



○皆さんこんにちは！私の声は聞こえますでしょうか？

本日は貴重なお時間を頂きまして I M の案内にお邪魔させて頂きました。

こうしてスクリーンを通してリモートという形でご案内させて頂くわけですが、これには訳がございます、今年度の I M はご承知の通り新型



コロナウィルスの感染拡大によりまして例年のように一つの会場にたくさんの方が参加して行うスタイルは不可能だと判断して今年度は六つの会場に分散して開催する。そして六つの会場をオンラインシステムを活用して I M を開催するというように考えております。

○当日皆様には、今おられる会場からスクリーンを通して I M に参加ということになります。

○オリンピックが延期になり、新型コロナウイルスが感染拡大しまして今までの社会情勢が大きく変わり、今まで当たり前だと思っていたことがそうではなくなりました。当然のことながらロータリークラブも社会の変化に対応していかなければならないと思うわけです。それで今年度の I M は社会の変化にどのように対応していったらよいか、これからのロータリークラブはどうあるべきか、そういったことを考える、それを目的とした I M を開催したいと思っています。

今年度の I M のテーマは「これからのロータリーの在り方」となっています。これにつきましては蜘蛛様副実行委員長からお話があると思いますが、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

それで今日はリモートでのご案内という事でたいへん失礼なのですが、またご不便かけるとは思いますがこれも「これからのロータリーの在り方」ということでご理解頂き是非ご協力をお願い致します。

<蜘蛛 I M 副実行委員長より>

○皆様のお手元にリーフレットが配布されていると思います。今小山ガバナー補佐からお話がありましたように、裏面を見て頂くと分かりますが会場が二か所に分かれています。秦野会場に関しましては、名水 RC は今日のこの部屋になります。因みに伊勢原会場も三か所に分かれています、当日はこのような状態で開催予定です。

各クラブ自体は例会を行われると思います。ただそれを更に皆さんが集まると



いう形、それこそ伊勢原は伊勢原、秦野は秦野、もしくは大きな会場といろいろ考えてはみたのですが、現状各クラブでは例会は行われているというところでクラブ単位で集合という形に今回はさせて頂きました。

そしてズームで各会場と交互に多少お話しができるということになれば良いと考えております。これがメイン会場から一方的に配信させて頂くことも有りかと思いますが、正直それは退屈だと、たぶん各会場の皆様は寝てしまうということも考えられますので、このようなお互いに話しができる状態を取りながら進めて行こうと思っています。

- プログラムの中にあります“合同例会”と“IM開会式”の内容に関しましては普段と同じようになっています。ただ多少変わってくるのが、開会式の中での各クラブの紹介という部分と新会員の紹介・米山奨学生の紹介は各クラブの方へお話しを振りますので、こちらのカメラの前から会長がご紹介をお願いします。そしてこちらにおられない方もおまして、パストガバナー補佐の皆様、来賓でいらっしゃる方は伊勢原のメイン会場でお待ちしております。そしてパネラーの方も同じです。よって普段よりもう少し人数が減った形になると思います。
 - フォーラム①では先程話しがありましたように“これからのロータリーの在り方”ということで各クラブ一名のパネラーの方に出て頂き話しをして頂きます。ここの中では、“これからのロータリーの在り方”というところのいくつかの中で①デジタルシフト、このようなオンラインの形であったりを皆さんがどのように思われているか、事前に先日パネラー会議を開催しまして原さんに参加頂きました。そこで伊勢原の三クラブは以前ズーム会議を開催したことがあると話しをされましたが秦野の三クラブはそういうことはしたことが無いと、またはそういう事にあまり興味が無いということでした。そういう中で今回のこういうオンラインで行っていることが次のきっかけになれば良いかなという部分がありますので、そこの良いところ・悪いところを踏まえて皆さんでお話しをしたいと思っています。
 - ②環境問題ということで、ペーパーレスや最近よく話しに出ますSDG'sなどそういうところも少しお話しできたらいいと思っています。
 - ③奉仕活動について今のコロナ禍でやっていく奉仕活動について皆さんと少し考えていきたいと思っています。
 - それをパネルディスカッションだけを見ているとさすがに、皆様も「うん、そうだな」と頷いてしまうので多分各会場に振られると思いますので、その時にはカメラの前に立って頂いてご意見を頂いたり、または皆さんこのご意見に対して賛成でしょうかというような挙手をお願いする場合もありますのでご協力よろしくお願い致します。
 - 次に“フォーラム②”と何も書いてない項目がありますが、こちらに関してはこのようにリモートでやってることを最大限に活かして、海外の方へ目を向けようというところで、秦野中RCさんの台湾の窮翠RCと昨年度当地区と姉妹地区関係にありますチェジュセイブRCと交流をさせて頂いたのでそちらの方にもズームで参加して頂いて各国のお話しをして頂ければと、このズームで良かったのは来て頂く費用が全く掛からないという事もあります。特に今回は国際大会が台湾であるので、そちらの状況等も聞けたら良いかなと思っています。
- 以上が凡大の説明の部分になります。

<小山ガバナー補佐より>

- 今、凡そ蜘蛛手副委員長より説明がありましたが、私の方から全体の流れから補足的に説明させて頂きます。
- 今回のIMですが、こういったオンラインのズームというシステムを使っているということが特徴ですが、このオンラインで行うという事は技術的な事は別としていろいろ難しさがあります。その一つとしてどうしても一方通行になり易い、通常IMはそういう傾向はありますが特にオンラインではその傾向が強いです。よってできるだけ、意見交換ができるようにしたいわけで“これからのロータリ

一の在り方”を考えていき、その中でパネルディスカッションをメインテーマとしてやっていくわけですが、時間が限られており全体の中では3時間ありますが、パネルディスカッションは1時間しかありません。1時間の中でみんなの意見を伺うという事はできないので、パネラーに主に意見を出して頂いて、それに対して皆さんに反応を示して頂きたい。サブテーマとして、例会をオンラインにする、あるいは環境保全の問題(ペーパーレス)ですが、メリット・デメリットがあるわけで、皆さんが実際どう思うのか意思表示をして頂きたいのです。またロータリーのコロナ禍の奉仕活動に対して等、サブテーマについてみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

パネラーにお願いしているのが、6人全員が反対となるとちょっと議論にならないので、賛成の方はこういうメリットがあるのだとお話しして頂きます。

恐らく、オンライン例会についてはこんなに味気ないものは無いと反対意見が強い、ですがメリットもあるはずでそのあたりはやってみないと分からないわけでやってみて初めてメリット・デメリットが分かるので実際やっているクラブの人にこういうメリットがあるんですよとお話しをしてもらいます。そのあたりを聞いて、では自分はどうなんだと意思表示をしてもらうことにします。それは進行役が最終的にオンライン例会についてどうですか？というところで賛成の方は挙手をする、こういった形で意思表示をして頂くと考えています。

一方的に聞いていると眠くなってしまうのでできるだけそうならないように工夫していきたいと思っています。

○最初の1時間は通常のコネクト例会・IMの開会式を行い、メインがフォーラムで1時間、その後台湾と韓国のロータリーの方にこのコロナ禍においてどんなロータリー活動をしているかそのあたりを聞き出したいと思います。そういったところはこのようなオンラインシステムがないとできないと思います。こういうテクノロジーは積極的に導入し扱っていく必要があるのではと思います。

○今回のこういう技術的な対応は非常に重要であり、我々素人だけだと難しいのでJCOMさんをお願いしました。

それでは、当日よろしくお願い致します。



13. 点 鐘